

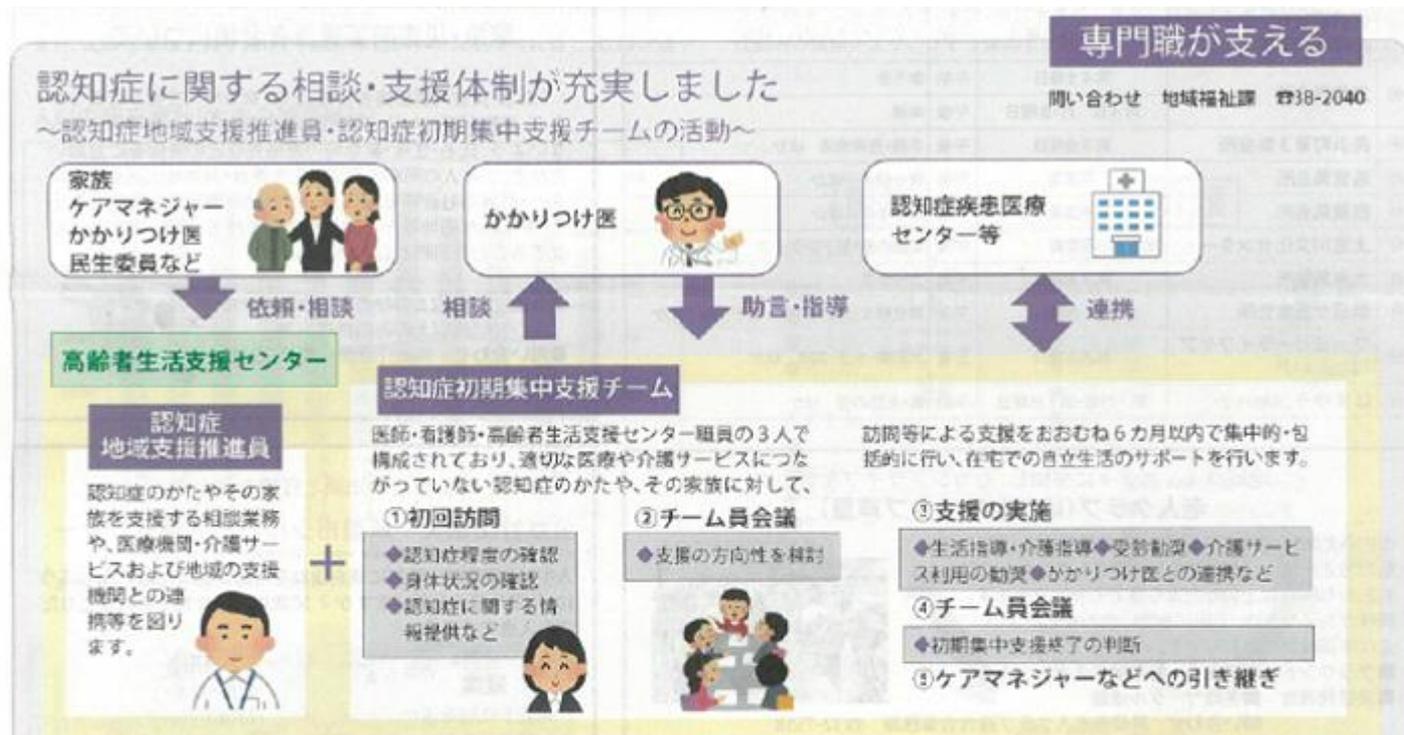
令和4年度 芦屋市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：4名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - (1)国の定める「認知症地域支援推進員研修」の受講
 - (2)キャラバン・メイト研修の受講
 - (3)地域包括支援センター職員の認知症ケアに関する専門性の向上
 - (4)認知症の人を支援する関係者との連携
 - (5)認知症ネットワークの構築
 - (6)地域の実情に応じた認知症の人やその家族を支える事業の実施
 - (7)若年性認知症の人の相談、支援

報告者氏名：**芦屋市福祉部高齢介護課 濱砂**

芦屋市 認知症施策全体図①



「認知症の人を支える家族の会あじさいの会」

認知症のかたを支える家族がつどい、経験や情報を分かち合いながら、お互い励まし、助け合ってよりよい介護をめざす「家族の会」です。

■日時 毎月第3月曜日、午後1時30分～3時30分(祝日の場合は第2月曜日)

■問い合わせ あじさいの会 ☎32-7525(社会福祉協議会内)

認知症サポーター養成講座を開催しませんか？

自治会、学校、商店街、職場、サークル、ボランティアなどの集まりに講師(キャラバンメイト)が出向き、認知症の正しい理解、認知症の人の行動や心理、支援や対応する際の心配りなどを学びます。約90分程度。

■費用 無料(会場は主催側でご用意ください)

■申し込み&問い合わせ 社会福祉協議会 ☎32-7525



協力事業者による 地域見まもりネットワーク事業

さまざまな事業者の皆さんにご協力いただき、日常の業務で支援が必要な高齢のかたなどを地域で見守り、安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

7月末現在、136事業者の登録をいただけており、実際に専門機関による支援につながっています。ご協力をいただける場合は、下記へご連絡をお願いします。



問い合わせ

社会福祉協議会 ☎32-7530/高齢介護課 ☎38-2044

【芦屋市】認知症施策②

普及・啓発

- 講習会、広報紙等で啓発
- 認知症ケアネット作成
- 保健・医療・福祉連携
- トライやるウィーク受入
- 認知症サポーター養成

ネットワークの構築

- 認知症高齢者見守りSOSネットワークの活用
- 認知症行方不明高齢者捜索模擬訓練の実施
- 地域見守りネットワーク

早期発見 相談体制の充実

- 初期集中支援チーム
- 認知症地域支援推進委員
- 認知症相談センター
- 医療福祉連携
- 保健センターにて相談

支援の充実

- 地域密着型サービスの整備
- 認知症等高齢者GPS機器貸与事業、認知症高齢者見守り支援事業の利用促進
- 消費者トラブル早期発見
- 若年性認知症のニーズ把握と支援、仕組みの検討

居場所づくり

- 利用しやすい、気兼ねなく集まれる居場所づくり
- さわやか教室等で認知症の予防に資する取り組み

標題 世界アルツハイマーデー啓発イベント

<目的>

世界アルツハイマーデーが9月21日に位置付けられており、前後1週間で認知症の啓発を行う。啓発ポスターを募集し、最優秀賞の作品を掲示する。応募から作成の過程で、特に若い世代が認知症について考える機会が増え、市内の方が早期に認知症の人に気づけるようになることを目的とする。

<概要>

【内容】

■実施事項

「世界アルツハイマーデー啓発ポスターコンテスト2022」

■参加・企画者

認知症地域支援推進員、地域包括支援センター、基幹的業務担当、芦屋市

■工夫した点

周知方法、テーマ、審査について



世界アルツハイマーデー啓発 ポスターコンテスト2022

■啓発

認知症サポーター養成講座を実施したキッズスクウェア（放課後教室）等に個別に案内し、ポスター等の作成を依頼した。

また、認知症地域支援推進委員連絡会の啓発メンバーでチラシ配布先へ案内した。幅広く応募いただくため、チラシで参考図書等の紹介を行った。

■テーマ

「認知症の方が安心して生活できる社会の実現」

認知症に対する理解の促進に資するものとし、認知症の方への理解・交流等を造形的表現で訴えるもの（例えば認知症の方はこんな事で困っているかも、こんな風に一緒に暮らしたら良いな、こんな経験をしたなど。）とします。

また、第三者が知的財産権を保有する著作物を使用しないでください。

下記の啓発動画や参考図書も参考にしてください。

■審査について

市内で認知症に深くかかわる機関の代表に審査いただき、機関同士の連携強化と幅広い啓発に繋がられた。

- ①福祉部長
- ②社会福祉協議会 会長
- ③当事者代表
- ④あじさいの会 会長
- ⑤芦屋病院 認知症外来 医師

【成果】

- 最優秀賞の作品をアルツハイマーデー前後1週間で市内掲示板にポスターを貼り、啓発することが出来た。
- 同じ時期に市内施設の福祉センターで認知症啓発のパネル展示を行い、ポスターコンテストの結果も発表した。パネル展に華を添えることになり、今までにない注目度を集めることが出来た。（設置していた認知症ケアパスを多くの方に取っていただけた）
- 放課後教室等の小中学校へ啓発を試みたことで、連携強化につながった。

【反省と課題】

- 夏休みに取組みを開始できるよう年度初めから募集活動を開始する必要がある。
- 小中学校だけでなく、様々な世代の方からの応募を受けることが難しかった。

• 最後に・・・

認知症の理解を進める活動を充実したものにすることができた。

昨年度に初めて開催したときには4点の応募だったが、今年度は小・中学校に周知を行った結果、25作品の応募があった。

アルツハイマーデーの際の啓発活動等については、ポスター掲示以外の方法についても、検討すべきと感じた。